

格

差

社

会

人間らしく『働く』こと、『生きる』こと、ともに考えましょう

勤労世帯の2～3割は、その所得が生活保護水準以下?

「構造改革」によって、日本型雇用（長期雇用・年功型賃金制度）は、すでに過去のものとなり、企業は、派遣や請負に偏った労働力を要求してきた。

安い賃金で長時間労働を強いられる不正規労働者の急増。

東京都足立区のある小学校の6年生のクラスで、「将来の夢」が書けない子どもが3分の1を数えた。

憲法記念の日、「格差社会」をとおして見えてくるもの。

憲法の理念、「平和・人権・民主主義」が実現される社会をともに考えましょう。

「平和・人権・民主主義」を考える西濃憲法集会2006

実行委員長 田中美帆



後藤道夫 (ごとう・みちお)

都留文科大学教授（社会哲学・現代社会論）
1947年生まれ。「構造改革」の全体像を研究。
「収縮する日本型〈大衆社会〉—経済グローバルイズムと国民の分裂」（旬報社）
「平等主義が福祉をすくう—脱“自己責任=格差社会”の理論」（共著青木書店）
「『新しい戦争』の時代と日本」（共著大月書店）など著書多数

まず、まともな生活ができない勤労者の世帯が増えています。いわば、下層がふくれあがってきている。ここに今の格差拡大の第一の特徴があります。収入が生活保護の基準以下になったら、子どもを育て、文化的な社会生活をするのがむずかしくなります。私はこれをワーキング・プアとよんでいます。最低限度の生活が困難な勤労世帯のことです。

その増大はいわば「絶対的な格差」の下におかれる人々の格差なんですね。相対的な格差も開いていますが、それだけが問題なのではない。普通の常識的な社会生活、精神生活から排除されるという意味の格差の拡大を重視すべきだと思います。

インタビュー「構造改革を問う」より

(後藤道夫)



交通案内

- JR東海道本線 大垣駅からバスで約10分、車で5分（大垣～名古屋間快速で29分）
- 名神高速道路 大垣IC、羽島ICから車で約20分
- 国道21号線 和合ICから車で約2分

地下駐車場あり

「平和・人権・民主主義を考える」西濃憲法集会2006 関連企画

4月4日(火)
18時30分～21時

プレ企画

「日本が変わる！ 自衛隊が軍隊になるとき」

講師：弁護士 内藤 功氏
元参議院議員であり、
有事法制のスペシャリスト。

場所：ソフピアジャパン
10F 大会議室（資料代500円）

4月15日(土)

13時30分～16時 中高青年企画

『ようこそ先輩 ～平和課外授業～3時間目』

JR大垣駅アピオビル6F会議室
ゲスト：久保田弘信氏（フォトジャーナリスト）
みんなで知ろう。世界の中の日本。
なんでも聞いちゃえる、
なんでも言えちゃうよ。

入場無料

4月16日(日)

13時～16時（開場／12時30分）

教育企画

「犬山市の教育改革に学ぶ」

お話：加地 健氏
犬山市立犬山北小学校校長
場所：スイトピアセンター 学習館2F
スイトピアホール（資料代500円）
※託児あり（要事前申込300円）
当事務所までお電話下さい。